

平成 29 年 7 月 10 日

日本産木材を利用した中国南部市場向けモデル建築棟の竣工について

一般社団法人 日本木材輸出振興協会

1. モデル建築の建設の経緯

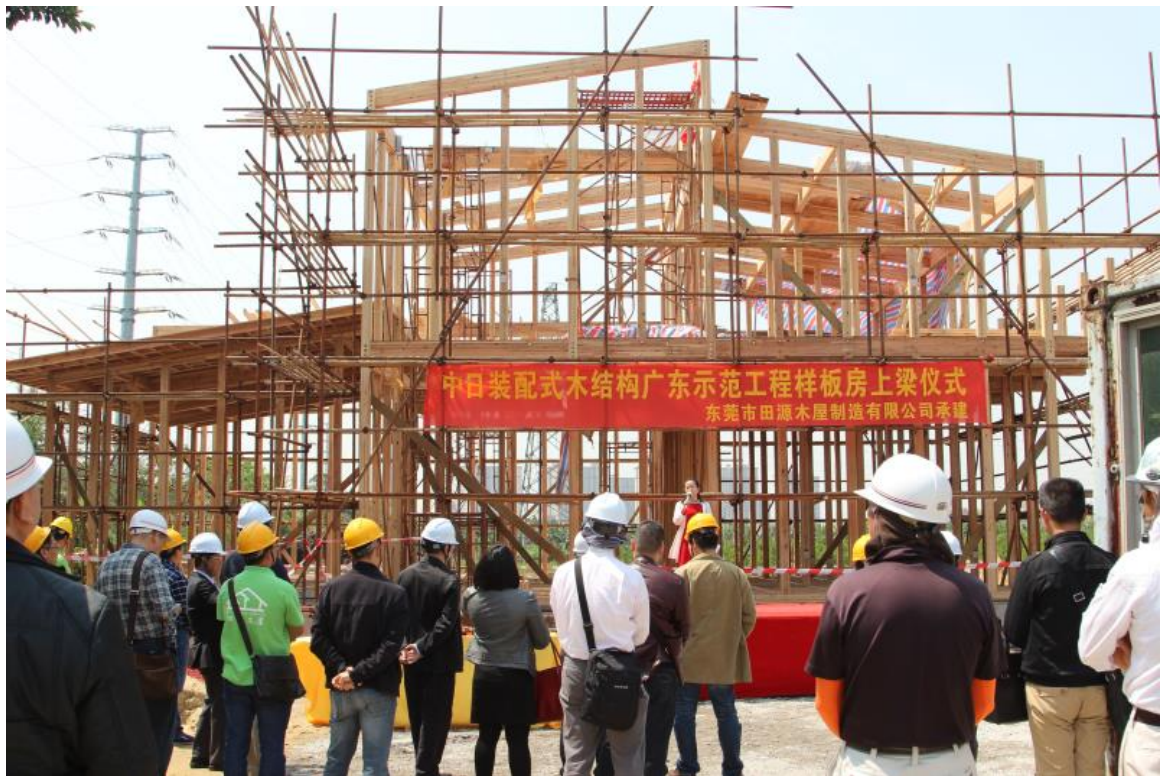
当協会は、日本産木材の認知度向上のため、木造軸組モデル住宅の展示・PRを通じて、スギ、ヒノキ等日本産木材を利用した付加価値の高い構造部材、内外装材、木製建具、木製家具等の木材製品の輸出促進に取り組んでいます。

林野庁の平成 28 年度「海外での地域材利用事業」を活用し、日中双方の関係者の協力の下、スギ、ヒノキ、カラマツの集成材・製材を用いたプレカット部材やメーターモジュールの厚物構造用合板による軸組構造のモデル棟の建設に取り組んできた結果、平成 29 年 7 月 10 日に「広東モデル建築棟」が竣工の運びとなりました。

2. モデル建築の概要

階数	2 階建
間取り・構成	エントランスホール、応接ホール、展示ホール、会議・研修室、多用途部屋 3 室、洗面所など
建築面積	230 m ²
延床面積	330.5 m ² (1F 230.0m ² 、2F 100.5m ²)
構造	木造軸組構法
主要部材	軸材：スギ、ヒノキ構造用集成材；スギ KD 材 面材：スギ・カラマツ構造用合板等 造作材：スギ、ヒノキ材等
建設地	広東省東莞市麻涌鎮 時進羅漢松農業園
着工日・竣工日	着工日：平成 28 年 12 月 16 日 竣工日：平成 29 年 7 月 10 日
設計・施工	設計：大連双華木構造建築工程有限公司 施工：東莞市田源木屋製造有限公司 技術指導：院庄林業株式会社
協力者	「木構造設計規範」国家標準管理委員会、上海交通大学木造建築研究所、南京林業大学材料科学・工程学院、広東省林業科学研究院

3. モデル建築の内外観



中国の「木構造設計規範」（改定案）に対応したモデル建築の軸組構造外観



現地の気候や嗜好を踏まえた外観（高天井空間、ヒノキ羽目板全面貼り）



玄関周辺における木づかいによる和の空間



木組みの美しさを追求した会議・研修室の内装デザイン



木の現しや開放感が溢れる2階の廊下・吹抜き